

ちば文化振興計画の概要

「ちば文化」とは 古くから伝えられた文化、さまざまな交流によってもたらされた文化、県内各地で取り組まれている新しい文化などが、互いに触発することで、醸成される、多様で豊かな文化。

1. 計画の策定にあたって

- ① 策定の趣旨：本県文化の現状や県民ニーズを踏まえ、文化振興施策の総合的かつ効果的な推進を図るため、文化の振興の基本的な方向及び施策に関する事項を定める。
- ② 位置づけ：総合計画をふまえ、本県の文化芸術の振興に関する基本目標や施策の方向性を定めるもの
- ③ 期間：平成23年度からおおむね5年間
- ④ 対象とする文化芸術の範囲：芸術、メディア芸術、伝統芸能、芸能、生活文化、国民娯楽、出版物等、文化財等
- ⑤ 進捗状況の評価等：政策評価を活用した進捗状況の評価

2. 千葉県文化芸術を取り巻く現状と課題

- 物の豊かさから心の豊かさへの意識の変化
- 人口構成の変化に対応した施策、人材育成
- 文化芸術団体への参加促進と交流・連携
- 文化施設における展示・催しの充実
- 学校教育における文化芸術の充実
- 千葉の自然・文化等（文化資源）の継承と地域振興への活用
- 県に対する期待
 - 青少年が文化芸術に親しむ機会の充実
 - 文化財や伝統芸能などの保存・継承への支援
 - 優れた音楽会や展覧会などの鑑賞機会の充実
 - 文化芸術に関する情報の提供

4. 文化振興の推進体制

- 多様な主体との交流や連携を強化し、文化芸術に関連する各部門と補完しあいながら各種施策等を推進する。
- ① 「ちば文化」を創造していく主体
県民、芸術家、文化芸術団体等
 - ② 「ちば文化」を支える主体
県、市町村、学校、文化振興財団等
文化施設、企業

3. 基本目標

ちば文化の創造と千葉県民のアイデンティティーの醸成でつくる
心豊かな県民生活と活力ある千葉県

5. 施策の体系

<施策の方向>



文化芸術活動を支えるための
仕組みづくり

文化にふれ親しむ環境づくり

文化資源を活用した
地域の活性化

伝統文化の保存・継承

「ちば文化」の魅力発信

<施策の展開>

- ① 県民の自主的な文化芸術活動の促進
- ② 文化芸術団体への支援
- ③ 文化のネットワークの構築
- ④ 「ちば文化」を担うひとづくりの推進
- ⑤ 企業メセナ等による支援の促進
- ⑥ 文化財の保存整備の支援
- ⑦ 顕彰の実施
- ⑧ 優れた芸術鑑賞機会の充実
- ⑨ 子どもたちの文化芸術活動の充実
- ⑩ 若者の文化芸術活動の支援
- ⑪ 高齢者・障害者等の文化芸術活動機会の充実
- ⑫ 学校教育における文化芸術活動の充実
- ⑬ 県立文化施設の機能の充実
- ⑭ 文化資源の活用と地域の活性化
- ⑮ 文化的景観等の保全・活用
- ⑯ 伝統文化の保存と担い手の育成
- ⑰ 伝統文化にふれる機会の提供
- ⑱ 青少年への伝統文化の継承
- ⑲ 「ちば文化」の魅力の発掘と情報の収集・提供
- ⑳ 文化発信拠点としての県立文化施設の充実
- ㉑ 「ちば文化」の魅力を発信する文化事業の充実